

教育 / 教え子

石の騎士 ガンツ

一人以上の騎士の前で、ギルデンスターンの騎士あるいは騎士見習いに対し説教をした後、このカードを使用できる。

アクション：アクションではない

トリガー：「教え子（あなたが認定する）」が一回のD20判定を行う。

効果：

その出目に+1D4する。

再使用：可

次の大本営会議開始以降に、一人以上の騎士の前で、「教え子（あなたが認定する）」に説教をすることで、再度使用可能になる。

青の騎士（本物）

青の騎士 スヴィプダグ

自分が本物の青の騎士ではないことをほかの一人以上の騎士に明らかにして以降、このカードを使用できる。

アクション：アクションではない

トリガー：味方がダメージを受けた時

効果：

そのダメージ、および付随する効果を自分が受ける。

再使用：不可

闇の中の恋人

花の騎士 ジゼル・メイナード

女性キャラクターを一人、かつて一度だけ出会った恋人として指定できる。一人以上の騎士の前でそれを明らかにする。以後、このカードを使用できる。

その恋人は生存している →A

その恋人は死亡した →B

アクション：アクションではない

トリガー：一回のD20判定を行う。

効果：

A：その出目を15にする。このカードは使用不能になる。

B：その出目を20にする。このカードは思い出とともに失われる。

再使用：Aの場合のみ可

次の大本営会議開始以降に、一人以上の騎士の前で恋人に指定したキャラクターに愛をささやくことで、再度使用可能となる。

帝国からの監視任務

白銀の騎士 ジェラルド・ミュラール

自分が帝国のスパイであることをほかの一人以上の騎士に明らかにし、任務を開示した以降、このカードを使用できる

アクション：アクションではない

トリガー：味方が技能判定を行う

効果：

味方の技能判定のD20判定を好きな出目にする。

再使用：不可

行き場をなくした避難民

渡守の羊飼い カロン・ラマトス

避難民を連れて落ち延びてきた。村民を信頼できる場所／人物に送り届けて以降、このカードを使用できる

アクション：アクション

効果：

1レベルのキュアウーンズを起動する。

再使用：可

大本営会議終了ごとに再使用可能となる。

その血のさだめ

閃光の王子 ジョージ（ヨルダ）

母クラーラ妃が刺繍した形見の布切れを持っている。これは不完全である。これが完成した以降、このカードを使用できる。

アクション：アクションではない

トリガー：名前付きのNPCに対して一回の攻撃を行う。

効果：

その攻撃に2D20の追加ダメージを与える。与えた追加ダメージに等しいダメージを自身受ける。このダメージは抵抗などで減少させることはできない。

再使用：不可

騎士見習いの幼馴染

献身の歌い手 メリエル・カルパンティエ

幼馴染と再会したのち、このカードを使用できる。幼馴染の末路を指定する。

彼は…死亡した。→A

彼は…健在で、騎士団に加わった。→B

彼は…死亡するところだったが、他の騎士の協力を得て一命をとりとめた。である。

アクション：アクションではない

トリガー：視界内で、自分以外によって一回のD20判定が行われた時

効果：

A：その出目を3にする。

B：その出目を18にする。

C：その出目を好きな出目にする。

再使用：不可

信じてくれた男 / 書記官ラウランス

不動の金庫番 フランチェスカ・ゴールドチェイン

ラウランス卿と再会し、一人以上の騎士の前で彼と言葉をかわしたのち、このカードを使用できる。

アクション：アクションではない

いつでも

効果：

金貨400枚までを出資でき、プレイヤーズハンドブック内の品物を自由に購入できる。

再使用：不可

波濤の騎士

風の騎士

一人以上のほかの騎士がいるとき、波濤の騎士と言い合いをしたのち、このカードを使用できる。

アクション：アクションではない

トリガー：一回の攻撃を行う

効果：

その攻撃に2D6の急所攻撃を得る。使用する武器を問わない。

再使用：可

大本営会議開始以降に、再度波濤の騎士と言い合いをすると、再度使用可能になる。